

第8回 練馬区の将来像を考える区民懇談会(全体会)における質疑応答

No.	分科会名	意見・質問	分科会委員の回答
1	区民生活分野	<p>・区民生活分野分科会の報告書の8ページの「アイデアa-3」の町会・自治会の活性化という内容について、コミュニティという点は教育分野分科会でも非常に重要視していた。しかし、残念ながら町会・自治会を地域づくりの核にするのは難しいのではないかという考えに至った。</p> <p>・町会・自治会を運営する母体の高齢化や、加入者の減少などが課題となっているのではないかと。石神井台では加入率が2割を下回っていると聞いている。特に町会・自治会を活性化する観点から、より具体的なアイデアがあれば教えて頂きたい。</p>	<p>・町会・自治会は、区と切っても切れない関係にある。区・警察・消防などの行政組織は、町会・自治会を通じて区民の皆さんに情報の周知や取り組みの協力依頼を行うことが慣例になっている。</p> <p>・町会・自治会の加入率は、50%を切っているそうである。そのため、会員の増加に取り組んでいる。その方法としては、区が率先して町会・自治会をPRし、町会・自治会加入に関する勧誘活動を強力に推進することが重要であろう。</p> <p>・特に、アパートに入っている単身者がこうした地縁組織に興味がないことが課題となっている。また、町会・自治会側としては、昔から住んでいる人が役員となっているといった組織の硬直化が課題となっている。リスク対策の観点から現状の体制がとられているのだと思うが、若い人に向けたイベントなどを行うことも重要であるし、人事的にも若返りが必要であり、若い人の運営体制への参画を推進することが必要である。</p> <p>・3年前に自治会会長を経験している。</p> <p>・私たちの自治会では、ほぼ100%の組織率で40代50代が自治会長をしている。このきっかけは、防災訓練であった。みどりや防犯では人が集まらなかったが、防災は非常に多くの人に興味を持っている。今は防災を中心に議論している。</p>
2	区民生活分野	<p>・教育分野の17ページで、小学校からの学校選択制の採用ということ掲げたが、区民生活分野の8ページでは、近隣コミュニティの体制整備で、「概ね小学校を単位とした近隣コミュニティ組織を～」とある。</p> <p>・この点について、区民生活分野から意見があればお聞かせ頂きたい。</p>	<p>・学校選択制は、コミュニティづくりに弊害が出ていると感じており、個人的には賛成しかねる。</p> <p>・今の発言に賛成である。</p> <p>・小学校では、小学校区ごとに避難拠点運営連絡会が設置されている。そこには、町会の会員やPTAのOBの会や地域の消防団、青少年委員なども参加しており、地域コミュニティの結びつきを作る場となっている。</p> <p>・学校には地域のさまざまな団体が関わっており、その中に町会員も数多くいる。こうしたことから、小学校から学校選択制となると、地域がバラバラになる可能性はある。</p> <p>・PTAとなっている年代の親は町会で活躍することが難しくても、町会の役員と顔見知りになることはできる。そのことにより、町会に入って行きやすくなるという効果もある。</p>

No.	分科会名	意見・質問	分科会委員の回答
3	健康福祉分野	・家庭教育や子育てのことで、13ページにあるa-1の事業アイデアは教育分野分科会のものとも非常に似ており、興味を持った。内容について詳しくご説明頂きたい。	・子育て拠点とは、そこに行けば、庭もあれば、畳もあって子どもを自由に遊ばせることができるのと同時に、困ったときの情報も手に入るというような場所を想定している。 ・全ての年齢の子育て世代が訪れる施設を想定しており、多世代交流にもつながると考えている。
4	健康福祉分野	・夜間と休日の診療体制の意見が出されているが、救急車のたらい回しの問題などの救急医療の受け入れや、産婦人科の不足に関する議論があったかどうか教えて頂きたい。	・妊産婦に関する問題や救急搬送については議論していなかった。 ・練馬の医療は、家庭医、中規模病院、大規模病院の連携が不足しており、それを解消することが議論の重点となった。 ・練馬区役所の中に、小児科医療の救急窓口があるため、それが参考になるのではないか、ということで議論を行った。
5	健康福祉分野	・今から15年前に、ボランティアで福祉チームを立ち上げた。 ・今回の報告書でも、「障害者」という言葉は「障がい者」と一部ひらがなにはなっているが、言葉そのものは残っている。この言葉だけで差別を受けている人もいると思うので、もし、何か良い言葉があれば、別途教えて頂ければ幸いである。	・練馬手をつなぐ親の会から参加している。 ・「障害者」の人権擁護ということからすると、言葉は不適当な部分があったと思うが、むしろ、権利擁護の必要性を区民全体が理解できることが重要であると思う。 ・東京こどもセンターのホームページで、「障害児」改名キャンペーンをやっているのをご参照頂きたい。
6	健康福祉分野	・練馬ではみどりと農地は地域の資産である。 ・健康づくりや福祉に関する取り組みで、みどり・農地を活用するような施策を考えていただければと思う。	・「高齢者の生きがい」といった内容に盛り込まれているほか、地産地消などの取り組みも盛り込んでいるため、後ほど確認して頂きたい。
7	教育分野	・教育分野の13ページの事業c-1の実施内容の中で、パソコンを否定的な内容として表現している。しかし、パソコンはテレビなどとは異なって双方向でのコミュニケーションが可能なツールであり、なければ生活に不便を感じるほどのものである。否定的な内容として整理するのは違和感がある。	・ここで、パソコンや携帯電話を取り上げているのは、インターネットを使い過ぎることによってコミュニケーションが少なくなり、子どもたちの間に弊害が出ていることが社会問題にもなっているという認識があったことによる。 ・ここでいうパソコンは、生活の中での便利な機能ということではなく、インターネットに依存してしまうようなことがないように、という趣旨である。
8	教育分野	・12、13ページで、家庭が取り組むべきことだけが記述されている。しかし、崩壊しているような家庭も地域内には存在しており、こうした家庭をフォローするため、地域も一体となって取り組むべきであるという発想を盛り込んでいただきたい。	・中間報告でも大人になりきれない親という表現を利用したが、a-1やa-2は、親の教育を目標としている。 ・また、親の仲間づくりというものも、壊れている家庭を救っていきたいという思いを盛り込んでいるものである。

No.	分科会名	意見・質問	分科会委員の回答
9	教育分野	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の話が出ているが、先日石神井図書館の地下に行くと、郷土資料室があった。しかし、そこに行くためには、外にある階段を使わないと行けない。図書館の整備を進める中で、障害者や高齢者が行きやすい場所に整備して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・石神井図書館の地下にある郷土資料室は、(仮称)ふるさと文化館として建設計画を進めている施設へ引き継がれる予定である。 ・今後南田中にできる図書館の建設懇談会では、バリアフリーを重視しているし、行政もその点を重視していると思う。 ・教育分野分科会ではそれは当然のこととして考え、具体的に記述していない。
10	環境まちづくり分野	<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化の問題という点について、中間報告の際に意見が出されている。これについて、今回の報告書では直接的なテーマにはなっていないが、議論の経緯をお聞かせ頂ければありがたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・そのことについては、中間報告会の後に改めて議論を行った。 ・地球温暖化に対する取り組みは、将来像とか事業の中で細かく述べるのではなく、すべての取り組みの大前提としてあるのではないかと考え、整理した。
11	環境まちづくり分野	<ul style="list-style-type: none"> ・20ページの事業b-2に関して、もう一つ進んだ内容として一方通行で車が通りにくいような所は通行止めにするような発想も育てて頂きたい。 ・子育て世帯にとっては路地が無くなっているということが非常に問題となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分科会でも同様の発想で議論を行った。2車線道路を一方通行化するというのは、歩行者が通りやすい道路をつくっていこうという考え方である。今のご意見も、この考え方の延長にある考え方であると思う。
12	環境まちづくり分野	<ul style="list-style-type: none"> ・事業a-1のみどりの約束プロジェクトの中で、“みどり税”があり、これは非常に面白いアイデアだと思う。 ・税が減免される対象となるのは、敷地の中にみどりを植えることなのか、公共の場に植えることなのか、具体的な内容を検討していれば教えて頂きたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・詳しいことは、まだアイデアであるため想定されていない。 ・例えば、相続税を納めるときに、緑地をそのままにしておけば減免されたり、土地を売買したときに税金のかわりに緑地を納付することが可能であったりといったアイデアが議論された。 ・そうすると、緑が少しずつ増えていくのではないかと。
13	環境まちづくり分野	<ul style="list-style-type: none"> ・「誰もが移動しやすいまち」は、誰もが「安全に」移動できることが重要ではないかと思う。 ・移動しやすいだけでなく、歩行者にとっても安全であって欲しいと思う。 ・また、我々の自治会では真ん中に道路計画があり、それが完成するとコミュニティが崩壊する。コミュニティのためには、交通量を制限するといったこともあって良いのではないかと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・趣旨としては「安全な道路」を作っていこうという考え方のもとに、整理している。
14	環境まちづくり分野	<ul style="list-style-type: none"> ・車いすの方は通りにくいいため、将来的には車いすでも通れるような道として頂きたい。 ・さらに、高齢者は認知症になると迷子になりやすいため、目印があると良いと思う。 	